

# 親子聖書日課

[日]神が自分のものとして聖霊により保証された私達が、自分勝手に生きれば、聖霊を悲しませるだけです。保証と中身が違っては、誰からも信頼されません。聖霊の助けを頂き、主の心をわが心として、心の底から新たな生活を送りましょう。

[月]月が太陽の光に照らされて輝くように、私達も主の光に照らされてこそ、輝いて生きるのです。光の子として、「何が主に喜ばれるかを吟味し、主の御心が何であるかを悟って」歩みましょう。そのために、御言葉に聴き従い、祈ることが大切です。

[火]悪魔は暗闇の支配者ですから、光の子である私達を滅ぼすために、様々な攻撃を仕掛けてきます。そこで「神の武具を身に付ける」ことが大切です。主の救いの兜、御言葉の剣、祈りの盾を身に付けて、用いるなら、信仰の勝利があります。

[水]どんなに善いと思って始めても、成果が上がらないと止めたくなくなります。しかし、善い業を成し遂げて下さるのは主ですから、諦めてはいけません。成し遂げようと努力(Try)する前に、成し遂げて下さる主に信頼(Trust)することが大切です。

[木]信仰生活は何の問題もない楽な生活ではありません。この世との戦いがあり、自我との戦いがあります。しかし、その戦いは一人で戦っているのではなく、主と共に戦って下さいます。主の力を頂いて、心を合わせて福音の為に戦いましょう。

[金]自分の救いを達成するために、努力が一番というわけではありません。救いは、どこまでも主の御業です。そのために、主は十字架で死なれました。ただ私達に必要なことは、主を信じ、「イエスこそ主である」と告白し、主に従うことです。

[土]異邦人伝道が祝された背後には、弟子達の献身がありました。「親身になって心にかけて」「主の業に命をかけ、死ぬほどの目に遭う」のです。自分のことだけを求めているは福音は広がりません。命がけの伝道は、今の時代も必要です。



NO.1516 2017.10/15-21

名前

	聖書	問題	答え
日	エフェソ 4:17-5:5	何を悲しませてはいけませんか。	
月	5:6-33	何の子として歩むべきですか。	
火	6:1-24	しっかりと立つことができるように、何を身に着けるべきですか。	
水	フィリピ 1:1-11	キリスト・イエスの日までに、その業をどうしてくださいますか。	
木	1:12-30	キリストのためにどうすることも、恵みとして与えられていますか。	
金	2:1-18	すべての舌が、何と公に宣べて、父である神をたたえるのですか。	
土	2:19-30	エパフロデイトは何に命をかけ、死ぬほどの目に遭ったのですか。	
感想と祈りの課題			